

茅ヶ崎セントラルクリニック

吉時 裕次（看護部 主任 / 看護師）

功 績 透析患者さんの来院日時とベッド配置を変更することで、職員シフトを見直し限られた人員で安定した透析医療を継続できる体制を構築した。

現場の実情を踏まえた実行力ある改善により、業務効率化と働きやすい職場環境づくりに顕著な成果を上げた功績。

推薦者氏名 野口伸一（事務長）

推薦理由 現場を熟知した視点で課題を整理し、職種間調整と患者対応を両立させながら具体的成果につなげた点を高く評価します。

残業削減と業務効率化を同時に達成し、職員の働きやすさと経営両面に貢献した功績を理事長賞として推薦します。

内 容

透析の人員配置に関し、月水金・火木土ともに2クールに勤務がまたがるいわゆる「通し稼働」による、看護師残業増加が常態化していた。

それを改善するため透析患者配置の最適化とシフト改善に中心的役割を果たした。患者数や時間帯別の稼働状況を分析し、午後の患者数が相対的に少ない点に着目、火木土午後に患者さんを集約する配置変更を提案した。

具体的には、分散していた患者さんを一つのエリアに集め、看護師3名体制から2名体制へ再編し、1階奥の空きベッドを活用する新たな運用を構築した。

これにより1.5時間の残業が発生する通し勤務は一人当たり月5～6回から1～2回程度へ減少し、1人あたり月約6時間に相当する残業削減を達成、全体で月約15万円規模のコスト削減効果が見込まれる。

実施に当たっては、主任・副主任、ME、看護部長への丁寧な説明と合意形成を行い、患者に対しても生活背景や病状を踏まえた説明を実施し、円滑な移動を実現した。

現有戦力で今後の患者数増加にも対応可能な持続的運用体制を整えた点は、組織運営上大きな意義を持つ。